

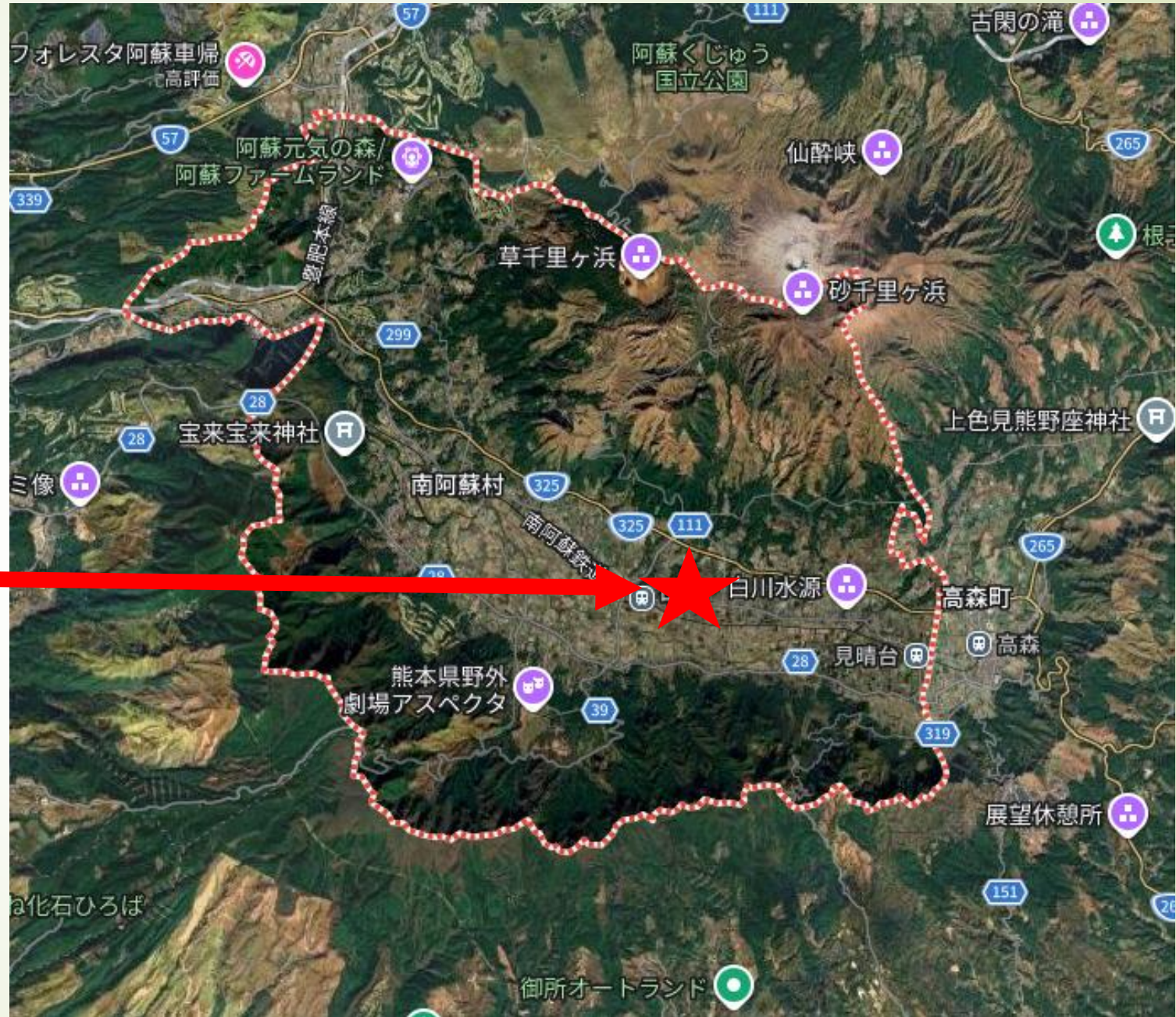
放牧フル活用肉用牛生産と 体験型民宿の牧場経営

なかむら牧場

代表 中村 和章

農場の場所

熊本県阿蘇郡南阿蘇村



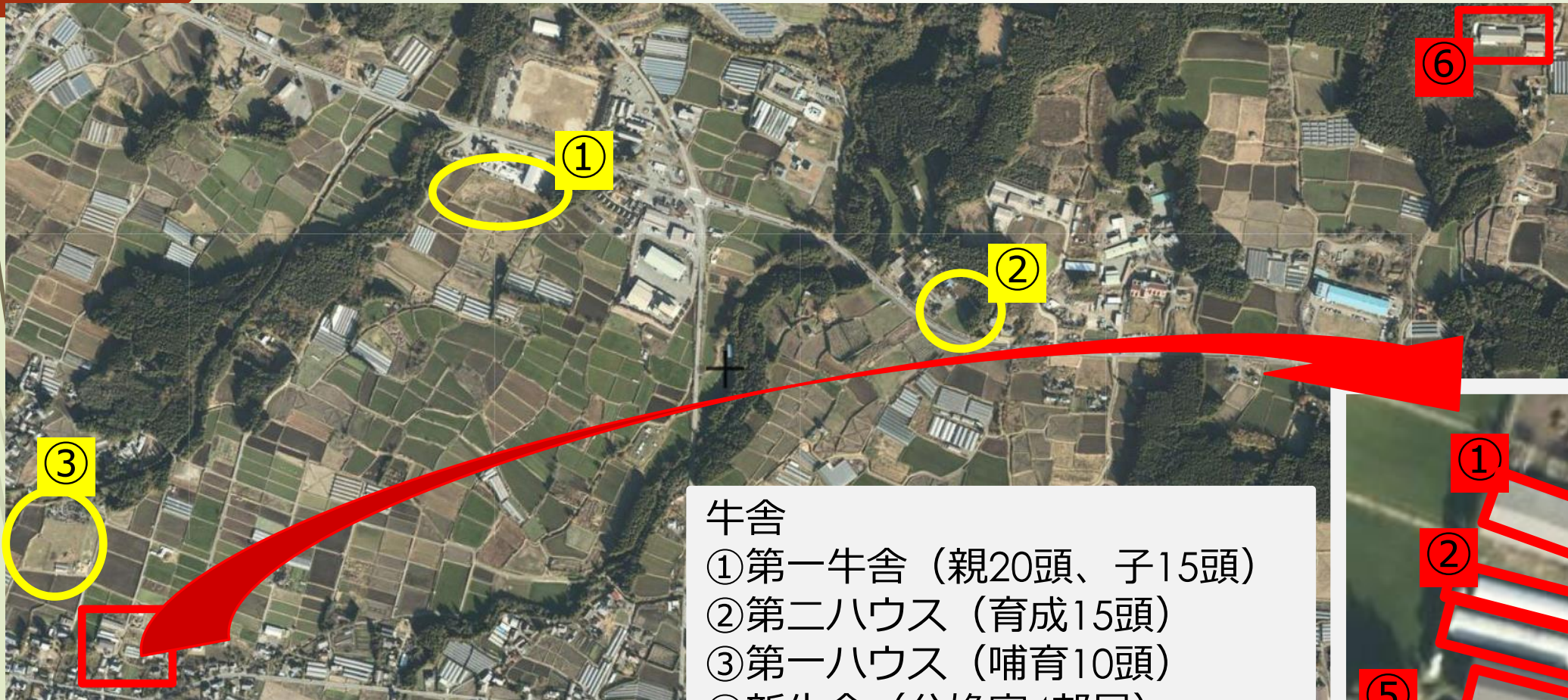
経営概要

肉用牛繁殖経営

- 飼養頭数 繁殖雌牛71頭、子牛50頭
(あか牛61頭、黒牛10頭)
- 施設 牛舎5棟+牛舎(賃貸)1棟
- 放牧場 牧野2か所、畑地3か所
- 飼料生産 イタリアンライグラス15ha、ギニアグラス10ha
稲WCS6ha、稲ワラ2ha
- 労働力 4名(本人、妻、常時雇用スタッフ2名)
- 他作物 水稻3ha、露地野菜



なかむら牧場 配置図



牛舎

- ①第一牛舎 (親20頭、子15頭)
- ②第二ハウス (育成15頭)
- ③第一ハウス (哺育10頭)
- ④新牛舎 (分娩室4部屋)
- ⑤第二牛舎 (哺育10頭)
- ⑥吉田牛舎 (賃貸)
(育成+分娩前後 4頭×6部屋)



放牧の取り組み状況①

下市牧野（地元牧野） 30ha

○地元農家7戸利用 ○放牧期間 5月～12月

○放牧頭数 常時40頭前後（1農家10頭制限）



放牧の取り組み状況②

下碓牧野（隣地区牧野）

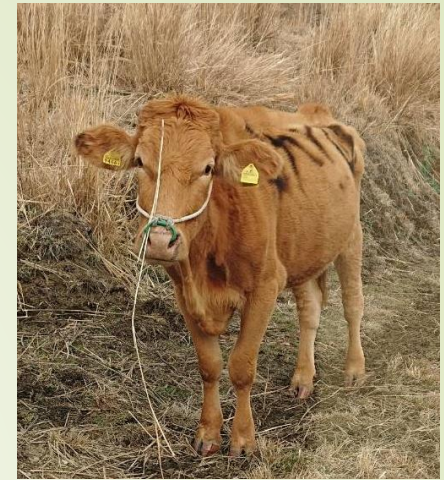
○地元農家＋地元以外農家

○放牧期間 5月～12月

60ha

6戸利用

○放牧頭数 中村牛23頭預託



放牧の取り組み状況③

畑地（借地） 3か所

- 1か所目 最大21頭（妊娠牛） 自宅から3分
- 2日に1回牧草ロール投入



放牧の取り組み状況③

畑地（借地） 3か所

2か所目 ○最大12頭（妊娠牛） 自宅から4分



放牧の取り組み状況③

畑地（借地） 3か所

3か所目 ○最大6頭（妊娠牛） 自宅から1分



放牧で工夫している点

➡ 草架

単管パイプと溶接で自作

➡ 柵

電気柵により設置が容易

➡ 鉍塩設置



放牧のいいところ

軸にしている考え

「牛舎はお金を産まない」

必要最低限の施設
放牧をフル活用

- 牛のストレスがない
- 牛舎代がいらなない
- 修繕維持費がいらなない
- 糞尿処理の必要がない



放牧で苦勞している ところ

- ➡ 脱柵の恐れ
- ➡ 脱柵した際の対応
- ➡ 水運び、ロール入れ
- ➡ 捕獲の手間
- ➡ 牛の移動



牧場体験民宿

生かされているのは私たちのいのち

「かかわる全ての人の喜びを追求する」を
経営理念に日々取り組んでいます



牧場体験民宿



白ヤギ
「ゆず」



犬
「コール」



猫
「にゃんにゃん」



猫
「みい」

今後の経営計画

○放牧を継続しながら
やや増頭

○草原親衛隊プロジェクト

使われなくなった牧野の放牧利用復活

○勤務先として選ばれる経営の確立

